



2012年  
4月

### 農業ボランティア

当時住んでいた葛飾区主催の農業ボランティアに参加。茨城県で米や野菜づくりの農作業ボランティアを行う。農業を仕事にすることを考え始める。



2011年  
10月

### 収穫体験

東京で会社勤めをしていた関さん夫婦。千葉県の親戚の畑で野菜の収穫体験。これがきっかけで農業の楽しさを知り、もっと農業体験できる場所を探し始めた。

私たち、こうやって  
中野市で就農しました



2013年  
3~11月

### 営農計画を立てる

就農コーディネーターの方にもアドバイスをもらいながら、5年後をめどにした営農計画を立てた。数字を見せることで、当初は反対していた両親も納得して応援してくれるように。



2013年  
12月

### 長野県農業 大学校受験

長野県で農業をやる覚悟を決め、農業大学校を受験。合格通知をもらい、職場に3月末での退職を申し出る。このとき、資金面では400万円を準備。

東京都品川区出身で、農業とは無縁の環境で育った関良祐さん。妻の理恵さんと2人で2016年4月、中野市で果樹農家として新規就農しました。「農業をやろう!」と決意してからどのくらいの期間をかけて、どのような流れで就農したのでしょうか。



2015年  
4月

### 里親研修スタート

実際の果樹の栽培過程や農家の心構えを学ぶ。近所付き合いや地域の暮らし方も。間借りしていた隣の家が空き家になり、住居として借りることに。これまで間借りしていた家を作業場や倉庫として使わせてもらう。



2014年  
12月

### 中野市に移住

里親農家さんが受け入れてくれたので中野市へ。雪の量が不安だったが、実際に冬に足を運び、これなら大丈夫かなと。農大に籍を置きながら、里親農家さんの親戚の家を間借りし、里親農家と農大の並行研修。



2014年  
4月

### 長野県農業大学校入校

長野県農業大学校研修部(小諸市)に入校。夫婦で入れる寮で生活。農業の基礎や農業機械の取り扱いを学ぶ。就農先は北信地域を希望していたが、絞り込めずに悩んでいた。東京のスーパーで中野市産のブドウを見ていたので「ブドウなら中野市」という思いがあった。

県内でも中野市は就農支援の取り組みが積極的です。他の地域と比べて中野市は親元就農が多い印象もあります。農業でしっかり稼いでいる産地としてのイメージが良いからではないでしょうか。現在、中野市では8人の里親農家さんが登録されています。労力としてではなく「地域の農業の発展のために若手農業者を育成しなければ」という思いで協力してもらっています。共感してくださる方は、ぜひ里親農家に登録していただければと思います。



長野県北信農業改良普及センター  
就農コーディネーター  
春日さおりさん

就農希望者に農地や支援制度の情報を提供したり、里親の紹介など研修先の選定をしたり、就農までを総合的にサポートしている就農コーディネーターの春日さおりさんに話を聞きました。

就農コーディネーターに聞く



2012年  
7月

### 移住相談会・就農相談会

移住相談会・就農相談会に行き始める。首都圏に近いところでブドウを栽培したいと考えていたので、山梨県や長野県の相談会に5、6回通う。長野県の就農コーディネーターにも相談に乗ってもらい、情報を収集。



2013年  
2月

### 長野県で農業体験

インターネットで情報収集し、長野県内での農業体験に参加。日帰りや1泊2日で、農業大学校（リンゴの剪定）や飯綱町（リンゴ・桃の摘果）、上田市（ブドウの房切り）へ。



2016年  
4月

### 新規就農

近くの農家さんから35畝のブドウの成園を借りられることに。自分たちで耕作放棄地を再生したほか、地域の皆さんから支援していただき、十分な広さの畑を借りて就農スタート。

## 新規就農者を サポートします

市では、県などが首都圏で主催する就農相談会に出掛け、就農を希望する方に中野市の農業の特徴や支援制度を紹介しています。

関心を持ってくれた方には実際に中野市に足を運んでもらい、農業体験してもらったり、先輩農家さんと話をしてもらおう機会を設けたりして、丁寧な説明を心掛けていきます。

就農当初の経済的な不安をサポートするため、国の支援制度のほかに、中野市独自の支援制度を幅広く設けています。親元就農の方や、インターンで新たに農業を始める方など、それぞれの状況に応じた支援制度をご案内していますので、まずはお気軽にご相談ください。



農政課 田中副主幹

### ポイント1 家族の理解を得ること

農業体験、就農相談はぜひ家族と一緒に。家庭内での話し合いをじっくり行い、家族の理解を得てから動きましょう。



### ポイント2 実際に体験してみる

会社員時代は一日中パソコンに向かって仕事をしていたので、暑さや寒さに耐え、自分に農作業ができるのか不安でしたが、実際に体験して自信ができました。農業体験など、主催者が設定している日程に都合が合わなくても相談してみましょう。また、将来住むとなったらどういう暮らしをするのか、現地では周囲の環境もよく見ておきましょう。



就農先を決めてからも、農地と家をちゃんと確保できるのか不安でした。最初はアパート住まいで、アルバイトをしながら野菜を作ってつなごうと考えていましたが、幸いにも里親農家さんを通して、住まいも農地も地域の方からお借りすることができました。地域の行事に積極的に顔を出し、皆さんの信頼を得ることで、いろいろな情報が集まってくると思います。

